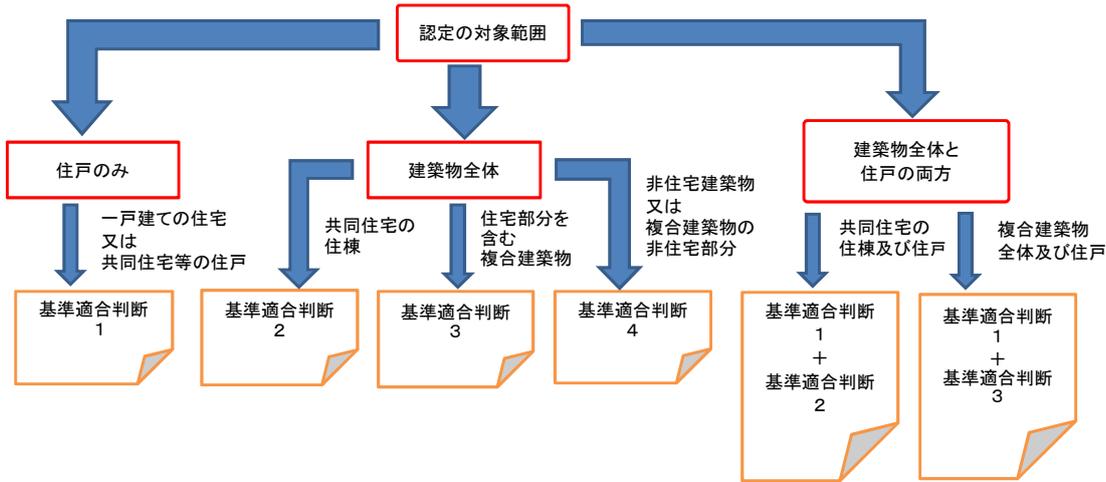


申請の別に応じた基準適用フロー（性能向上計画認定）



基準適合判断 1

一戸建ての住宅、共同住宅の住戸

- 各住戸における一次エネルギー消費量：
$$\text{住戸設計値} \leq \text{住戸誘導基準値}$$
- 各住戸における外皮平均熱貫流率UA値及び平均日射熱取得率ηA値：
$$\begin{aligned} \text{UA値設計値} &\leq \text{UA値基準値} \\ \text{かつ} \eta\text{A値設計値} &\leq \eta\text{A値基準値} \end{aligned}$$

(※)

※建築物省エネ法施行の際、現に存する建築物を除く。

基準適合判断 2

共同住宅の住棟

- 認定対象建築物における一次エネルギー消費量：
$$\begin{aligned} &\text{各住戸設計値の合計} && \leq && \text{各住戸誘導基準値の合計} \\ &+ && && + \\ &\text{共用部設計値の合計} && && \text{共用部誘導基準値の合計} \end{aligned}$$
- 各住戸における外皮平均熱貫流率UA値及び平均日射熱取得率ηA値：
$$\begin{aligned} \text{UA値設計値} &\leq \text{UA値基準値} \\ \text{かつ} \eta\text{A値設計値} &\leq \eta\text{A値基準値} \end{aligned}$$

(※)

※建築物省エネ法施行の際、現に存する建築物を除く。

基準適合判断 3

住宅・非住宅複合建築物

認定対象建築物について(イ)又は(ロ)かつ(ハ)に適合すること。

(イ)

- 非住宅部分の一次エネルギー消費量：
$$\begin{aligned} &\text{非住宅設計値の合計} && \leq && \text{非住宅誘導基準値の合計} \\ \text{又は} & && \text{BEIm} && \leq && \text{非住宅誘導基準値} \end{aligned}$$
- 住宅部分の一次エネルギー消費量：
$$\begin{aligned} &\text{各住戸設計値の合計} && \leq && \text{各住戸誘導基準値の合計} \\ &+ && && + \\ &\text{共用部設計値の合計} && && \text{共用部誘導基準値の合計} \end{aligned}$$

(ロ)

- 各住戸設計値の合計 + 共用部設計値の合計 + 非住宅設計値の合計 \leq 各住戸誘導基準値の合計 + 共用部誘導基準値の合計 + 非住宅誘導基準値の合計

(ハ) 各住戸における外皮平均熱貫流率UA値及び平均日射熱取得率ηA値：
$$\begin{aligned} \text{UA値設計値} &\leq \text{UA値基準値} \\ \text{かつ} \eta\text{A値設計値} &\leq \eta\text{A値基準値} \end{aligned}$$

(※)

- 非住宅部分の外皮性能：
$$\begin{aligned} \text{外皮性能設計値(PAL*)} &\leq \text{外皮性能基準値(PAL*)} \\ \text{又は} & && \text{BPIm} && \leq && 1.0 \end{aligned}$$

(※)

※建築物省エネ法施行の際、現に存する建築物を除く。

基準適合判断 4

非住宅建築物

- 認定対象建築物における一次エネルギー消費量：
$$\begin{aligned} &\text{非住宅設計値の合計} && \leq && \text{非住宅誘導基準値の合計} \\ \text{又は} & && \text{BEIm} && \leq && \text{非住宅誘導基準値} \end{aligned}$$
- 非住宅部分の外皮性能：
$$\begin{aligned} \text{外皮性能設計値(PAL*)} &\leq \text{外皮性能基準値(PAL*)} \\ \text{又は} & && \text{BPIm} && \leq && 1.0 \end{aligned}$$

(※)

※建築物省エネ法施行の際、現に存する建築物を除く。